牧野信一墓所　宗顔山清光寺（小田原市中町 1 丁目 14-13）





（墓裏面の碑文：筆・文　久保田万太郎　　撮影：星野和子）

牧野信一は明治二十九年十一月十二日小田原に生れ二十四才の秋処女作「爪」を発表して島崎藤村に認められた。そのあと作家生活十六年間に「父を賣る子」「村のストア派」「ゼーロン」「泉岳寺附近」等の代表作をはじめ八十余篇の作品を残した。

昭和十一年三月二十四日の夕刻小田原の生家で自ら死をえらび文学一図に捧げた四十一年の生涯を了へた。

昭和三十一年三月二十四日

久保田万太郎

しるす

小田原文学研究会　第 6 回特別企画

牧野信一生誕 130 年記念『文学散歩』（2026 年 11 月 20 日）

【ナビゲータ】

田代道彌・熊谷真理人（小田原文学研究会）　鈴木美樹（牧野信一実弟英二氏孫娘）

【行程】

9:45　集合　小田原駅東口『北条ポケットパーク』（通称：三角広場）

10:00　スタート

1. あいさつ　田代道彌
2. 散歩ルート説明
3. （集合会場で）牧野信一生家跡紹介　田代道彌
4. 清光寺　墓参（焼香）と墓碑見学　熊谷真理人

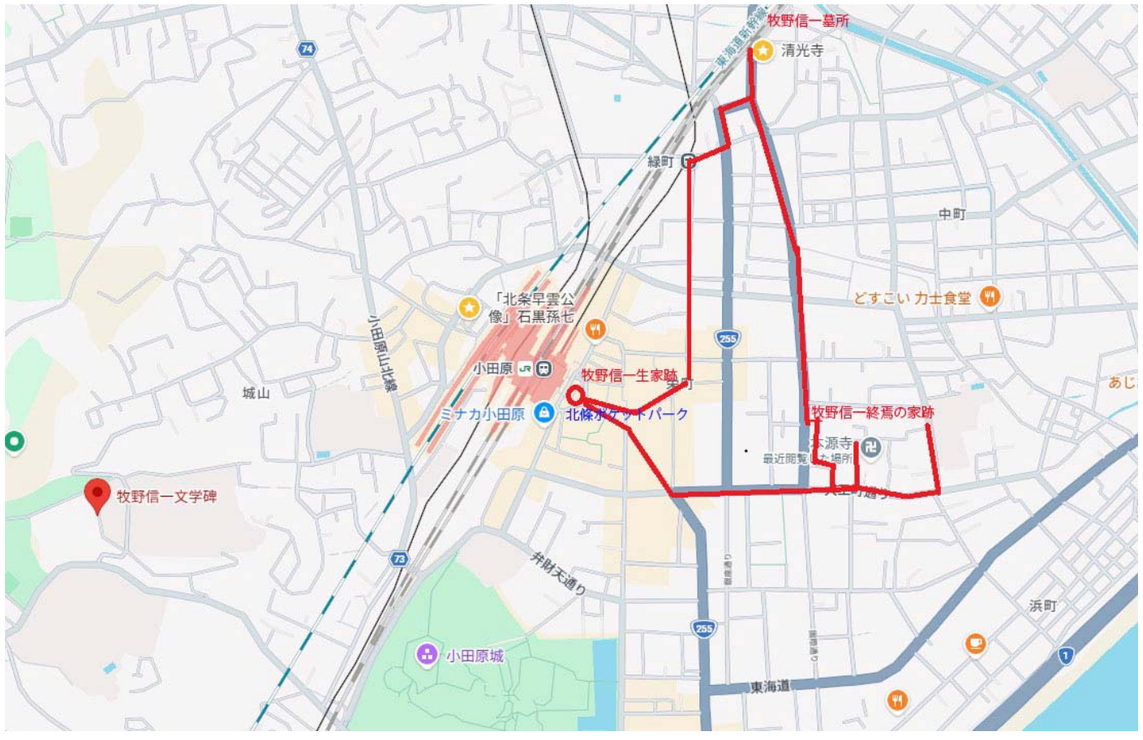
11:00

5. 本源寺附近　牧野信一終焉の家跡

牧野家の当時の住居（間取り・庭園）・住人の解説　鈴木美樹

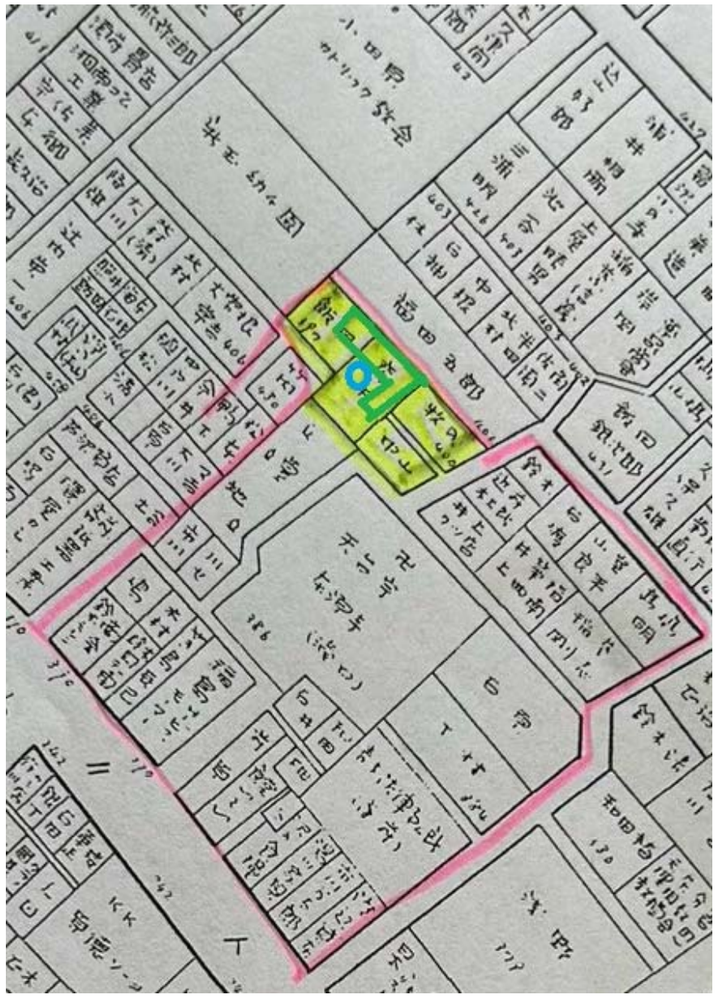
七枚橋・八反畑周辺の武家町について　田代道彌

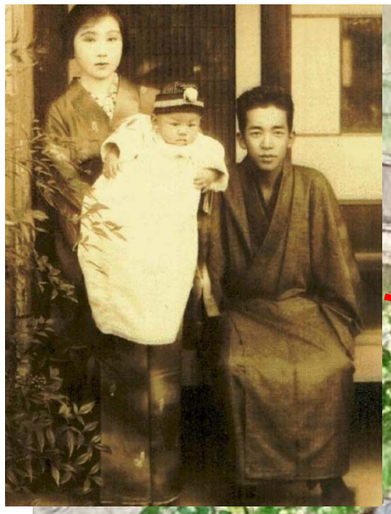
11:45　小田原駅東口に移動　　12 時解散（昼食）



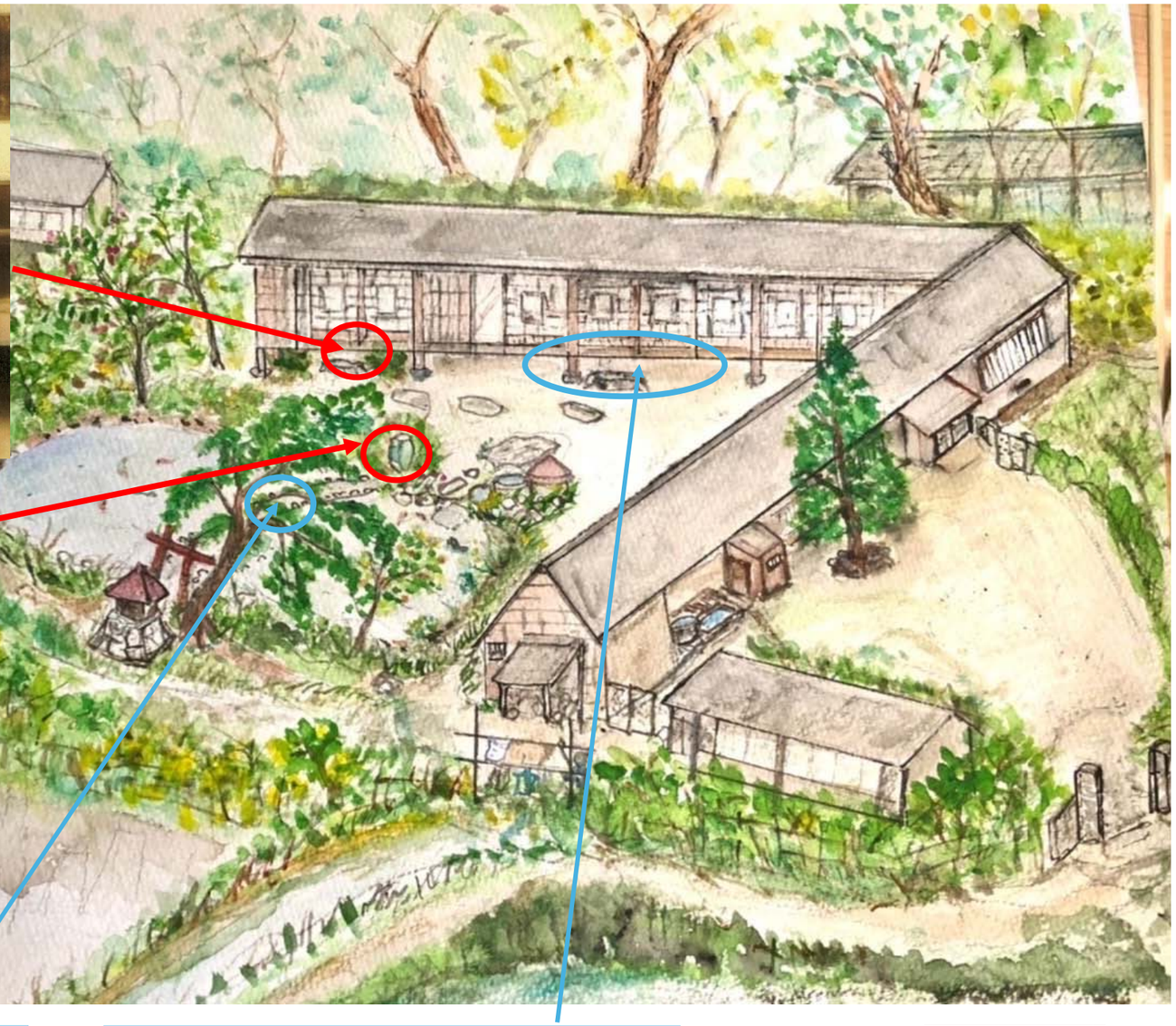
（資料協力：牧野英里　鈴木美樹）

牧野家（牧野信一終焉の家。新玉２－400 番地。　現在の栄町４丁目本源寺近く）スケッチ：牧野英里











庭には鯉の泳ぐ池と稲荷社が…



牧野英里(信一実弟英二娘)



牧野信一母えいと孫娘英里



牧野英二孫娘美樹



牧野信一の従弟画家牧野邦夫も
戦中戦後の一時期姉たちと居住していた